

令和4年（2022年）1月実施

介護予防・日常生活支援総合事業研修会におけるアンケート結果

回答数 25事業者（研修会参加事業者数 46事業者）

回答率 約54.3%

【1】研修会参加状況や研修会内容の理解について

(1)研修会参加事業者のサービス種別について

サービス種別	参加数	割合
居宅介護支援	20	43%
訪問型サービス	4	9%
通所型サービス	10	22%
地域包括支援センター	12	26%
合計	46	100%

(2)アンケート回答事業者のサービス種別について

サービス種別	回答数	割合
居宅介護支援	11	44%
訪問型サービス	3	12%
通所型サービス	3	12%
地域包括支援センター	8	32%
合計	25	100%

(3)研修会の内容はいかがでしたか。

選択項目	回答数	割合
よく理解できた	19	76%
理解できない部分があった	4	16%
知りたい内容が含まれていなかった	2	8%
合計	25	100%

【2】吹田市高齢者安心・自信サポート事業に関する内容について

(1)吹田市高齢者安心・自信サポート事業の今後のサービス内容について実現性や必要性が高いと思われるものを選択してください。(複数回答可)

選択項目	回答数	割合 (回答数/回答事業者数)
通所型サービス A (通所型入浴サポートサービス) の利用促進	6	24%
訪問型サービス及び通所型サービスの 1 回算定報酬を常時適用する。	12	48%
訪問型サポートサービスの短時間 (20 分以内) サービス	7	28%
訪問型サービス A (サービス提供従事者の資格要件を緩和した生活支援のみの提供)	9	36%
訪問型サービス B (有償ボランティア等の住民主体の活動団体による生活支援)	10	40%
上記以外のその他サービス内容	2	8%

(その他記載内容)

・ボランティアで活動した分をポイント制にして自分の親、後々の自分の為に貯金として使えるような制度。短時間でも介護保険外のシルバー人材さんのような内容がしてもらえるような制度が吹田市でもあればいいと思います。

(2)「吹田市高齢者安心・自信サポート事業」や「介護予防給付」ではサービス提供できない内容だが、利用者からよく求められたり、問い合わせを受ける支援があれば記入してください。

意見等
<ul style="list-style-type: none"> ・要支援の方の身体介護。片付けや大掃除の手伝い。散歩や話し相手をしてほしい。 ・「銭湯やスーパーに行きたいが足がない」と聞くので公共バスの拡充をお願いしたい。 ・要支援 2 の方、通所利用を 2 カ所行きたいとの要望があります。 ・ヘルパーさんに通院介助をお願いしたいと言われます。 ・急な通院支援が必要な場合。家族対応や自費サービスの利用が叶わない場合、介護保険ヘルパー事業所も人員不足で対応できず、結局ケアマネジャーが対応することに。とても負担が大きい。ゆくゆくこういうことになりそうだからと、前もって対応策を準備をしようと、説明を行うが、高齢者のため、理解力も低下しており、「自分だけはそんなことにはならない」等、その場になってみないと受け入れできない場合がほとんど。対応できる事業所などを探す時間もないため、自分が動いた方が早いと、つい思ってしまう動いているのが実情。 ・はつらつ体操など参加したいが歩ける距離になく利用出来ないケースが時々ある。その場合利用出来ず時間が経ちデイサービスの利用を検討することがある。 ・病院受診の付き添い、定期的な安否確認サービス。 ・大掃除、電球交換、買物への同行、PC の操作方法など。 ・介護保険などではできないサービス例：ベランダの掃除、玄関の外側の掃除、エアコンのフィルターの掃除、照明

の傘の掃除、排水口を分解して掃除、庭掃除、換気扇の掃除または、もっと自己負担の少ないサービスはないかと聞かれます(お金は持っておられる方なのに)。

・ヘルパーさんではできないお手伝い(大掃除に相当するものや金銭の管理、電化製品の不備の対応など)のニーズが多いように思います。

・通院介助。家が汚れている、汚いから掃除してほしい。

・日中独居の高齢者(要支援1・2)の訪問介護サービス(生活援助)の要望が多い。訪問調査では、歩けるからと要支援1・2の認定が出ても、自身で歩いて買い物に行けない人も多い。確かに基本的な生活支援は健康な家族がすべきとは考えるが、同居家族の仕事が夜勤であったり、仕事で在宅時間が極端に短いなど、一定の条件を満たせば同居家族がいても生活援助を受けられるような制度も必要かと感じる。

・対象要件外の方からの通院困難者タクシークーポン券。

・家族がいるが昼間独居の人の家事支援をしてほしいといった要望や、配偶者が認定がない要支援者の家事支援をしてほしいと求められることが時々ある。

(3) 吹田市高齢者安心・自信サポート事業についての御意見や御質問があれば、記載してください。

意見・要望等

・現状のルールの中で必要な支援をご案内したり、調整することに疑問をもたずにいました。今後、ニーズに合わせて、事業が良い形になるように意識を持って支援を考えようと思います。

・報酬単価が安いいため、無制限には受けれない。

・入浴のみの通所サービスの利用が少ないなどの話がありましたが、そんな物があるという周知が少ないし、実施する事業所が少ないのは見合うだけの報酬が少ないことが大きな理由です。

・ヘルパーさんではできないお手伝い(大掃除に相当するものや金銭の管理、電化製品の不備の対応など)のニーズが多いように思います。

・いつも情報発信ありがとうございます。通所での短期集中サポートサービスの依頼を頂く事がありますが、3か月、6か月と期間の設定はあるもののまだ明確ではない部分もあるかと思しますので今後も同サービスについての情報発信を頂けると助かります。

・しんどい。足が痛い。腰が痛いから掃除ができない。ヘルパーにて掃除をして欲しいと相談があるが、自分で動いてこそ痛みが治まったり、身体機能が維持できると思う。簡単にヘルパーでの掃除の利用できすぎだと思う。

・どういったケースで短期集中サポートサービスが効果的になされるのかについて事例集を出してほしい。

【3】吹田市民はつつ元気大作戦に関する内容について

(1) 介護予防の取組として「吹田市オリジナル介護予防体操」の動画をケア倶楽部で紹介していますが、ご覧になったことはありますか。

選択項目	回答数	割合
動画の掲載は知っているが、観たことはない。	10	40%
動画の掲載は知っており、観たこともある。	10	40%
動画について知らなかった。	5	20%
合計	25	100%

(2) 「吹田市オリジナル介護予防体操」の視聴を利用者に勧めたり、事業者で活用したことがある場合は、その内容を記載してください。

意見等
<ul style="list-style-type: none">・百歳体操の事でしょうか。百歳体操なら勧めたことはあります。・運動量が減っている方に視聴の説明を行った。・自宅で出来る体操として勧めた。・視聴の設備がないため、お達者体操などをプリントして毎日の運動習慣の日課を作るようにしている。・自宅での体操の機会として視聴を勧めたことが2回ほどあります。・自宅での自主トレとして紹介しています。・自宅で観てみてくださいと声をかける。・新型コロナウイルス感染への不安からデイサービスの利用を休止したり、新規利用を保留していた利用者に案内した。・介護予防教室で活用している。・ネット環境があり操作できる方のため限られたが、コロナ禍での自宅での運動のために案内した。

(3) 吹田市民はつつ元気大作戦についての御意見や御質問があれば、記載してください。

意見・要望等
<ul style="list-style-type: none">・もう少し、開催日程や手続き方法をネットでもいいので、簡単に分かるようにしてほしい。・コロナ禍でお休みが続いていた、いき百などが一時再開されて、皆さん参加者戻ってきたと言う声を聞いて、小さな元気なコミュニティがあるわと嬉しく思っていました。また蔓延防止で中止かもしれませんが、再開が待ち遠しく待たれるでしょうね。・中々、併用している人がいません。・住民の意識を変える説明会。自立支援にしても、介護予防・認知症予防にしても大半の住民は他人任せで、実際に自分がそういう状態にならないと考えようとされないの、その意識を変える講演会や説明会を市民向けに開催して欲しい。いくら事業所をたきつけても、市民の意識が変わらないと本当の意味での自立支援にはならない。一度

サービスを利用すると、多くの方はそのままサービスの利用を継続したいとおっしゃる方が多いです。我々サービス事業所側からサービスを切るような説明はしにくいです。その辺りの制度の周知などは行政の責任だと思います(地域包括任せではなく)。

- ・地域の方が主体ではありますが事業所としても協力できることは積極的に関わっていければと考えています。
- ・吹田市にお住まいのご高齢者の方で介護認定が下りてもおかしくないような方で、介護保険申請をされていない方がまだまだ数多くいるのではと思います。
- ・通年途切れずに利用できれば良いのでは。
- ・包括としては、高齢福祉室と連携して更に多くの人に介護予防の意識が広がるように働きかけていきたい。一般介護予防事業を進めるにあたっての、人的・物理的な資源不足を感じざるを得ない。

【4】吹田市の自立支援の取組等に関する内容について

(1)吹田市自立支援型ケアマネジメント会議に参加するにあたり、運営において改善した方が良いことがありますか。(複数回答可)

選択項目	回答数	割合 (回答数/回答事業者数)
時間帯	4	16%
場所	6	24%
提出資料	7	28%
対象事例の範囲	10	40%
提出後のモニタリング作業	6	24%
会議の内容	6	24%
その他	3	12%

(その他記載内容)

- ・対象者の自立支援マネジメントについて意見を交わす会議かと思って参加したが、口腔・栄養などの内容を単発で回答する場面も多く、どのように対象者が自立した生活に前向きになれるかなどについてはほとんど話し合われていないように思う。口腔・栄養も大切なテーマではあるが、無理に自立支援と結びつける必要は無いのではないかと。
- ・確か、初回の会議以来参加したことがないので、現状がどうなっているのか分からないので答えられません。内容が実際の業務に役立つ内容であれば参加したいと思うが、いつもの案内文では中身が見えてこないのも多忙な業務の合間をさいて参加したいと思わないです。
- ・特に問題はないと思います。コロナで参加はあまりできませんでしたが、1事例が短時間でよいと思います。

(2) 自立支援・重度化防止を進めるために、今後の自立支援型ケアマネジメント会議などを含めて必要なものは何ですか。（複数回答可）

選択項目	回答数	割合 (回答数/回答事業者数)
吹田市自立支援型ケアマネジメント研修会	10	40%
吹田市自立支援型ケアマネジメント実践報告会（元気になった高齢者の声を聞く）	15	60%
その他	3	12%

（その他記載内容）

- ・ケアマネジャー自身の考え方を変えることが必要。リハビリしているから、現状を維持できている。終了したら現状を維持できなくなる。といった考えがあると思う。
- ・アセスメントの際のリハビリ職の同席。
- ・認知症サポーター養成講座でも最初にこれからの日本が迎える超高齢社会の説明をしますが、そのことを知らない人が圧倒的に多いです。本日の説明会でも最初に同じような説明がありましたが、まだまだ65歳に満たない一般市民の方にも知っておいてもらう必要があります。他人事ではなく誰も関わる自分事だと思ってもらう意識改革が必要です。

(3) 現在、担当（利用）されている方や相談のみで支援されている方のうち、ケアプランCの対象となるケースはありますか。

選択項目	回答数	割合
ある	6	24%
ない	19	76%
合計	25	100%

(4) 介護予防・日常生活支援総合事業の研修で、取り上げてほしい内容があれば、記載してください。

意見・要望等
<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援 ・毎年、準備は大変だと思いますが、あまり意味のない研修内容で忙しい中に参加するのが残念に思うことがほとんどです。最後の質問タイムももっと発言を促すような投げかけや、提案などが必要でしょう。せっかくの機会なので、もっと大事に活用して欲しいと思います。今後もよろしくお願いします。 ・短期集中サポートサービス終了後の方の受け皿の拡充、総合事業の方の1回算定についての情報発信の機会を頂ければ幸いです。 ・「介護予防促進」「自立支援」などの観点に特化した困難事例の検討会 ・生活援助でできることとできないことの吹田版マニュアルを作成してほしい。